

# 小口混載輸出を事業化

白金運輸の倉庫で行われた積み込み作業。2社の荷物を一つのコンテナに混載し輸出する



## 奥州・白金運輸

奥州市江刺の白金運輸(海鏡徹社長)は、複数荷主の荷物を一つのコンテナにまとめて釜石港から輸出する「小口混載事業」を始める。県と3年にわたり実証実験し、電量が見込めると判断した。初回は県産品を積んで24日出港し、韓国・釜山経由で中国に輸出する。荷主は県外港を使うよりも輸送コストを削減でき、少量から輸出できる利点がある。利用次第で定期化も検討し、県内港を活用した県産品の海外販路拡大が期待される。

## 第1弾、24日釜石出港

### 県産品を中国へ

白金運輸は19日、奥州市江刺の同社倉庫で岩手県産(矢巾町)のドレッシングやしまつゆなどの県産食品とベアソン醸造所(盛岡市)のビールを20コンテナ1個に積み込んだ。釜石港を出港し8月1日に釜山港に着いて再仕分けして、中国の上海港と大連港に向かう。上海は10日、大連は18日に到着する予定。

県南広域振興局は2019、21年度、県内食品業者の海外販路拡大につなげようと、釜石港を活用した実証実験を実施。白金運輸が事業を受託し、運賃補助を受けて計10回行った。

陸送距離が短い同港を利用した方が、県外港よりも輸送コストを大幅に減らせることを確認。参加企業への意向調査から需要が見込めると判断し事業化した。当面は輸出の依頼があるたびにコンテナを手配する。定期化には利用企業を増やすことが課題になる。

同社の吉田裕一国際物流課長(48)は「釜山という中継地を利用することで集荷しやすくなった。本県からも小口で輸出できることを知ってもらい、週1回の定期化を目指したい」と展望する。

# 「人権問題」社会的孤立防げ

安倍晋三首相が奈良市で街頭演説中に銃撃されて死亡した事件で、宗教法人世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の存在が大きく浮上している。山上徹也容疑者は「母親が人信して多額の寄付をし、家庭が真贋

## 「宗教2世」

る。過度に教団に傾倒する親の振る舞いや関係に悩み、苦しむ子どもの存在だ。事件は痛ましく、容疑者の行為はいささかも許容できないが、恨みを募らせるに至った経緯が明らかになる

に付けるのが難しくなる。ある教団の2世信者は信仰に絡み、親からの体罰が日常だった。家庭が安住の場ではないのである。

幼少期は親から嫌われないうち必死に努力、我慢し

宗教は一つの価値体系あり、信者はその価値を置きつつ、世俗社会論議と折り合いを付けながら、人生の歩を進める信仰を糧として心豊かに生き、それが親から子へと

陸前高田市の文化継承が目的の冊子「たかたか」の発行が完了した。冊子は、高田市の歴史や文化を紹介する内容となっている。

漏水し、雨に濡れる。これは、高田市の文化継承が目的の冊子「たかたか」の発行が完了した。冊子は、高田市の歴史や文化を紹介する内容となっている。